

No. 525
2015年
4月

OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F
電話 (03) 3851-6100 Fax (03) 3851-6055
<http://www.orj.or.jp/>

● 2105年度定時総会開催

定款第14条の定めにより、2015年度定時総会を下記の要領で開催いたします。代議員の皆様のご出席をお願いいたします。なお、総会の議決権は代議員のみですが、正会員は出席し意見を述べるすることができます。多数の皆様のご参加をお願いいたします。

日時：2015年4月27日(月) 17時～

場所：三菱重工業(株)会議室
(〒108-8215 東京都港区港南2-16-5)
品川駅港南口徒歩3分

総会次第：

1. 2014年度事業報告の件
2. 2014年度収支計算報告および監査報告の件
3. 2015-2016年度役員承認の件
4. その他

● 2015年度研究部会・グループについて

先に募集を行いました2015年度研究部会・グループに関しまして、今回も多数の申請書が提出されました。研究活動の公開性、実績等に照らして審査を行いました結果、別表のとおり研究部会・研究グループを設定いたしました。(☆印は新設)

参加ご希望の方は、各部会・グループの主査または幹事までご連絡ください。

(研究普及委員会)

● 新設研究部会・グループ紹介

〔アグリサプライチェーンマネジメント〕

農業が持続的に発展できるよう、環境負荷も考慮し

ながら農家・小売・消費者がWin-Winの関係を保てる農業サプライチェーンマネジメントを多角的立場から議論し、意思決定支援システムの開発を目指します。

〔最適化の基盤とフロンティア〕

部会 URL：<http://dopal.cs.uec.ac.jp/okamotoy/woo/>
オペレーションズ・リサーチの基礎分野の一つである最適化をテーマとし、多様なフロンティア領域における最適化手法の応用、および、最適化における最新の理論基盤に関して活発に議論を行います。

〔数理的発想とその実践〕

本研究部会は、1991年以降8期24年にわたり、北陸地区で運営されてきた研究部会の後継部会にあたり、オペレーションズ・リサーチ関連分野における研究トピックの根底にある数理的アイデアについて議論します。

〔不確実性環境下の意思決定モデリング〕

部会 URL：<http://www.oit.ac.jp/or/>

本研究部会は、関西地区において永年にわたり脈々と引き継がれてきた研究活動の流れを汲むものです。様々な不確実性が伴う環境での意思決定に関連する研究情報を紹介・収集・交換する場を提供します。

〔地域課題解決のOR〕

OR手法を通して様々な地域課題の解決に取り組んでいる研究者や学生を対象に、発表の機会や議論の場を提供することを目的としています。公開セミナーやワークショップ等を通じて成果の発表を行います。

● 2015年度研究部会・グループ一覧表

*詳しくは、学会WEB掲載の各部会WEBをご覧ください。

2015年度 常設研究部会

	常設部会名	主 査	幹 事
1	待ち行列	三好直人 (東京工業大学) miyoshi@is.titech.ac.jp	井家 敦 (神奈川工科大学) inoie@nw.kanagawa-it.ac.jp
2	数理計画 (RAMP)	松井知己 (東京工業大学) matsui.t.af@m.titech.ac.jp	清見 礼 (横浜市立大学) masashi@yokohama-cu.ac.jp
3	評価のOR	廣津信義 (順天堂大学) nhirotsu@juntendo.ac.jp	施 建明 (東京理科大学) shi@rs.tus.ac.jp
4	意思決定法	西澤一友 (日本大学) nishizawa.kazutomo@nihon-u.ac.jp	杉浦 伸 (名城大学) shinsu@meijo-u.ac.jp
5	サプライチェーン戦略	米沢 隆 (日本アイ・ピー・エム(株)) yonezat@jp.ibm.com	草刈君子 kimiko.kusakari@nifty.com

2015年度 研究部会

	部 会 名	主 査	幹 事
1	大規模インフラストラクチャーのOR	三浦英俊 (南山大学) hmiura@nanzan-u.ac.jp	鳥海重喜 (中央大学) toriumi@ise.chuo-u.ac.jp
2	ORにおけるゲーム理論	渡辺隆裕 (首都大学東京) taka3.watanabe@nabenavi.net	梅澤正史 (東京理科大学) omezawa@rs.tus.ac.jp
3	OR普及のためのモチベーション教育	大堀隆文 (北海道科学大学) oohori@hus.ac.jp	加地太一 (小樽商科大学) tkaji31@gmail.com
4	安全・安心・強靱な社会とOR	神藤 猛 (千葉大学) shindo@chiba-u.jp	横谷大輔 (航空自衛隊) yokoya4427@inet.asdf.mod.go.jp
5	確率モデルとその応用	穴太克則 (芝浦工業大学) k-ano@shibaura-it.ac.jp	堀口正之 (神奈川大学) horiguchi@kanagawa-u.ac.jp 吉良知文 (九州大学マス・フォア・インダストリ研究所) kira@imi.kyushu-u.ac.jp
6	公共的社会システムとOR	諸星穂積 (政策研究大学院大学) morohosi@grips.ac.jp	田中健一 (慶應義塾大学) ken1tnk@ae.keio.ac.jp
7	信頼性	土肥 正 (広島大学) dohi@rel.hiroshima-u.ac.jp	肖 霄 (首都大学東京) xiaoxiao@tmu.ac.jp
8	ビッグデータとマーケティング分析	鈴木秀男 (慶應義塾大学) hsuzuki@ae.keio.ac.jp	高野祐一 (専修大学) ytakano@isc.senshu-u.ac.jp 横山 暁 (帝京大学) satoru@main.teikyo-u.ac.jp
9	リーマンマネジメントシステム	中島健一 (神奈川大学) nakasima@kanagawa-u.ac.jp	北條仁志 (大阪府立大学) hojo@mi.s.osakafu-u.ac.jp
10	☆ アグリサプライチェーンマネジメント	蓮池 隆 (大阪大学) thasuike@ist.osaka-u.ac.jp	加島智子 (近畿大学) kashima@hiro.kindai.ac.jp
11	☆ 最適化の基盤とフロンティア	岡本吉央 (電気通信大学) okamotoy@uec.ac.jp	奥野貴之 (東京理科大学) t_okuno@ms.kagu.tus.ac.jp
12	☆ 数理的発想とその実践	杉原一臣 (福井工業大学) sugihara@fukui-ut.ac.jp	野際大介 (福井工業大学) d-nogiwa@fukui-ut.ac.jp
13	☆ 不確実性環境下の意思決定モデリング	笠原正治 (奈良先端科学技術大学院大学) kasahara@is.naist.jp	中西真悟 (大阪工業大学) nakanisi@dim.oit.ac.jp

2015年度 研究グループ

	グループ名	主 査	幹 事
1	地域課題解決のOR	鈴木 勉 (筑波大学) tsutomu@risk.tsukuba.ac.jp	石井儀光 ((独)建築研究所) ishii@kenken.go.jp

● 研究部会・グループ開催案内

〔不確実性環境下の意思決定モデリング〕

・第1回

日 時：2015年4月11日(土) 14:00~17:00

場 所：常翔学園大阪センター301教室 (大阪市北区
梅田3-4-5 毎日インテシオ3F)

TEL: 06-6346-6367

URL: <http://www.josho.ac.jp/facility/osakacenter.html>

テーマと講師：

(1) 「データセンターにおける電力消費量の評価：待ち行列理論的アプローチ」

Tuan Phung-Duc (東京工業大学)

大規模データセンターの省電力法としてサービス要求の変動に応じてサーバをONにしたりOFFにしたりする方法が提案されている。本研究ではこのようなデータセンターを起動時間のある複数サーバ待ち行列でモデル化する。さらに、そのモデルに対する効率的な解析法を提案して、大規模データセンターの省電力効果を評価する。

(2) 「小売店の在庫管理と消費者行動」

北條仁志 (大阪府立大学)

消費者の小売店の選択においては販売価格、品揃え、目玉商品、サービスなど様々な要因が考えられる。小売業者の不確実な入荷量を考慮したホテリングモデルに基づく消費者行動の意思決定問題を提案する。小売業者の入荷量を考慮したうえで算出される期待効用を用いて線的市場での購買行動を考察する。

懇親会：4月1日(水) 締切

(1) 開催場所：常翔学園大阪センター Restaurant & Lounge 翔 (TEL: 06-6346-6351)

URL: <http://www.joshowelfare.co.jp/cafe/cafe-syou.html>

(2) 開催時刻：研究会終了後、17:15を予定

(3) 費用：6,000円程度

問合せ先：幹事 中西真悟 (大阪工業大学)

E-mail: nakanisi@dim.oit.ac.jp

部会 URL: <http://www.oit.ac.jp/or/>

〔待ち行列〕

・第253回

日 時：2015年4月18日(土) 14:00~17:00

場 所：東京工業大学大岡山キャンパス西8号館

(W) 809号室

テーマと講師：

(1) 「客の離脱を伴う複数クラス先着順単一サーバ待ち行列の重負荷近似」

勝田敏之 (関西学院大学)

(2) 「航空機の搭乗問題からランダム行列へ (仮)」

白井朋之 (九州大学)

問合せ先：神奈川工科大学 井家 敦

E-mail: inoie@nw.kanagawa-it.ac.jp

部会 URL: <http://www.orsj.or.jp/queue/>

● 2015年秋季シンポジウム (第74回)

日 程：2015年9月9日(水)

場 所：九州工業大学 (戸畑キャンパス)

実行委員長：小野廣隆 (九州大学)

● 2015年秋季研究発表会

日 程：2015年9月10日(木), 11日(金)

場 所：九州工業大学 (戸畑キャンパス)

実行委員長：廣瀬英雄 (九州工業大学)

● 新宿OR研究会

〔第347回新宿OR研究会〕

日 時：2015年4月21日(火) 12:00~14:00

講 師：森田 喬氏 (法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科 教授)

テーマ：「デジタル地図の可能性と課題」

〔第348回新宿OR研究会〕

日 時：2015年5月19日(火) 12:00~14:00

場 所：東天紅会議室 (新宿センタービル53F)

講 師：久保幹雄氏 (東京海洋大学大学院海洋工学系流通情報工学科 教授)

テーマ：「数理最適化の現在」

* 以下は各回共通

場 所：東天紅会議室 (新宿センタービル53F)

参加費：3,000円 (昼食代を含みます。事前にメールにてお申込みください。)

問合せ先：日本OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 公募案内

(詳細は、各大学のWEBおよび、OR学会WEBの「教員公募案内」をご覧ください。)

・ 青山学院大学理工学部経営システム工学科

募集人員: 教授または准教授1名

所属: 理工学部経営システム工学科

専門分野: 経営工学 (データ分析)

応募資格: (1) 博士の学位を有し、学部および大学院の教育・研究に熱意のある方、(2) 専門分野について優れた業績を有する方、(3) グローバル化に熱意のある方、(4) キリスト教に理解がある方、(5) 相模原と青山の両キャンパスに出講できる方

着任時期: 2016年4月1日

提出書類: <http://www.aoyama.ac.jp/recruit/detail144.html>

応募締切: 2015年7月10日(金) 必着

書類送付先および連絡先: 青山学院大学理工学部経営システム工学科 学科主任

Tel: 042-759-6305 (直通)

E-mail: saiyo@ise.aoyama.ac.jp

・ 青山学院大学理工学部経営システム工学科

募集人員: 助教1名

所属: 理工学部経営システム工学科

専門分野: 経営システム工学 (最適化技術領域)

応募資格: (1) 所定の科目が担当可能であり、学部および大学院の教育・研究に熱意があること、(2) 博士の学位を有するか取得見込みであり、相模原と青山の両キャンパスに出講できること、(3) グローバル化に熱意のある方、(4) キリスト教に理解がある方

着任時期: 2015年9月1日

提出書類: <http://www.aoyama.ac.jp/recruit/detail142.html>

応募締切: 2015年4月17日(金) 必着

書類送付先および連絡先: 青山学院大学理工学部経営システム工学科 学科主任

Tel: 042-759-6305 (直通)

E-mail: saiyo@ise.aoyama.ac.jp

・ 名古屋大学大学院 情報科学研究科 計算機数理学専攻 計算論講座

募集人員: 教授1名

(名古屋大学大学院情報科学研究科計算機数理学専攻計算論講座)

専門分野: 計算機科学にバックグラウンドを持ちその数理的側面に関する研究分野 (例えば機械学習・アルゴリズム理論・暗号理論など)

担当科目: 大学院情報科学研究科アルゴリズム特論工学部アルゴリズムとデータ構造・離散数学

応募資: 博士の学位を有すること

着任予定時期: 2015年10月1日以降のできるだけ早い時期

提出書類: (1) 履歴書、(2) 研究業績リスト (査読付学術論文、査読付国際会議、著書などを区別して記述すること、また主要な論文数編に印を付すこと)、(3) 5編程度の主要な論文の別刷あるいはそのコピー (雑誌掲載予定のものはその旨を示す文書のコピー等を添付すること)、(4) これまでの研究内容と今後の研究計画 (A4版2~3ページ程度、主要な論文における研究成果を引用して記載すること)、(5) 教育に関する実績と抱負 (A4版1ページ程度)、(6) その他、受賞、特許、学会および社会活動、研究費取得実績など選考にあたって参考となる資料、(7) 応募者の業績について問い合わせることのできる方2名の氏名と連絡先

応募期限: 2015年5月29日(金) 必着

書類提出先および問合せ先: 〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院情報科学研究科計算機数理学専攻長 松原 洋

E-mail: yom@is.nagoya-u.ac.jp

封筒に「計算機数理学専攻教員応募書類在中」と朱書し、簡易書留で郵送してください。

* 選考の過程で講演をお願いすることがあります。

* 本学では採用に際して男女共同参画に配慮しております。

2015年度 第1回ORセミナー

『統計分析の基本—データを用いて意思決定する方法を学ぼう』

開催趣旨：いまや流行り言葉になっている「ビッグデータ」。ORは、定量的な情報から意思決定をすることに強みがあるはずですが、理論研究と実務への適用の両面を目指しているOR学会としても、データを目の前にしたときにひるむことなく、立ち向かえる人を増やしたいと考えています。今回、統計の専門家お二人をお招きし、データを目の前にしたとき、統計分析の観点ではどう対象を捉えて、どう分析しているのか、いくつかの実際の例を交えてご解説いただきます。

日時：2015年5月30日(土) 10:25~18:00 (9:45開場)

会場：政策研究大学院大学(講義室, 5階) 〒106-0032 東京都港区六本木7丁目22-1

アクセス <http://www.grips.ac.jp/about/access>,

都営大江戸線・東京メトロ日比谷線「六本木」駅または東京メトロ千代田線「乃木坂」駅より徒歩

コーディネータ：黒木裕介 (OR学会研究普及委員), 連絡先: kuroky@users.sourceforge.jp

プログラム

10:25~10:30 **開会挨拶** コーディネータ

10:30~11:25, 11:40~12:30, 13:40~14:30 **「解析例で見る確率的モデリングのプロセス」**

野村俊一氏 (東京工業大学大学院情報理工学研究所)

確率的モデリングとは、ランダムさを持つ現象に対して、観測されるデータから、それが生み出される確率的構造を定式化することである。本セミナーでは、保険と地震のデータ解析を題材として、データの要約・視覚化からモデルの定式化、モデルパラメータの推定および検定、モデル選択に至る一連のプロセスを解析例に沿って解説する。

14:45~15:40, 15:55~16:45, 17:00~17:50 **「因果分析と要因探索のための多変量解析法」**

渡辺美智子氏 (慶応義塾大学大学院健康マネジメント研究所)

統計的問題解決とは、ターゲットとなる目的指標を明確化し、統計モデルを使って、その変動を予測し制御することである。そこでは、目的指標の変動を説明する要因の探索と因果分析をより現象に即して適切に行うことが必要になる。本セミナーでは、そのための多変量解析の基本的な手法として、重回帰分析・主成分分析・主成分回帰の手法を身近な例題で解説する。

17:50~18:00 **閉会挨拶・アンケート記入** コーディネータ

参加費 (テキスト代込み)：正・賛助会員 (協賛学会員を含む) 5,000円, 学生会員1,000円, 学生非会員1,500円, 非会員20,000円

***正会員でない賛助会員および非会員/学生非会員は、入会金無料で入会でき(それぞれ正会員/学生会員となる)、2015年度の年会費は免除されます。**

申込方法：お名前、ご所属先、正会員/賛助会員/協賛学会員/学生会員/学生非会員/非会員の別、お支払予定日を記入して、メールにてOR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp までお申し込みください。ご所属先宛の請求書が必要な場合、その旨お書きください。

申込メ切：2015年5月20日(水) ただし定員になり次第、締め切ります。

お振込先：みずほ銀行根津支店 (店番号235) 普通1530801

口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

協賛学会：日本経営工学会 (JIMA), 日本品質管理学会 (JSQC), 日本信頼性学会 (REAJ), 研究・技術計画学会 (JSSPRM), 日本設備管理学会 (SOPE-J), プロジェクトマネジメント学会 (SPM)

※詳しくは、OR学会WEB <http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html> をご参照ください。

2015年度年会費納入のお願い

2015年度年会費の請求書を2014年12月に発送いたしました。

大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名／法人名／法人名＋個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書／見積書／納品書、指定用紙など）。

OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。

学生会員年会費無料化キャンペーン

OR学会では学会活性化の一環として、2013、2014年度に引き続き、2015、2016年度も「学生会員年会費無料化キャンペーン」を実施中です。

1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員の方は、2015年度・2016年度の学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。

- ①WEBからの入会申込み
- ②入会金600円のお振込み
- ③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）

以上3点をもって、無料化受付が完了します。

2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

3) 2014年度学生会員の方については、10月に学生証pdf送付により確認いたしました。2014年度年会費無料会員対象の方は、引き続き2015年度も年会費無料対象となります。

学生会員から正会員への変更

学生会員はご卒業やご就職により、2015年4月から社会人になる場合でも、2016年2月末までは学生会員扱いとなります。

2016年度（2016年3月～2017年2月末）より正会員となります。正会員年会費14,400円を2015年11月以降に請求させていただきます。

ご卒業やご就職による「住所・所属先・OR誌郵送先の変更」や「退会希望」については必ず事務局にご連絡ください。

シニア会員について

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請／承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

特別会員について

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請／承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。

年会費専用振込み口座

年会費（不課税）：正会員 14,400円、
学生会員 5,000円、
シニア会員 7,200円
口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会
ゆうちょ銀行：東京00190-6-79492
みずほ銀行：根津支店（店番号235）普通1124744
*手数料は払込人負担でお願いいたします。
*お名前はフルネームでお書きください。

年会費の口座振替（正会員・シニア会員）

年会費の銀行口座自動振替ご希望の方は、事務局までご連絡ください。銀行所定の用紙をお送りいたします。（2016年度年会費からが対象となり、引き落としは2016年1月20日の予定です。）

OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5
サン・チカビル7F
TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055
*各種お届けは、メールにてご連絡ください。
（住所／所属先／メールアドレス／OR誌送付先等の変更、退会届）
会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。